

「現代版遠野物語」として話題になった2015年ベストセラーの『山怪』
待望の続編『山怪 弐』を刊行



インプレスグループで山岳・自然分野のメディア事業を手がける株式会社山と溪谷社（所在地：東京都千代田区、代表取締役社長：川崎深雪）は、2015年刊行のベストセラー『山怪 山人が語る不思議な話』（現在、12刷8万6000部）の続編に当たる『[山怪 弐 山人が語る不思議な話](#)』を、2017年1月19日に刊行いたしました。

「現代版遠野物語」として、著名作家からも高い評価を受け、新聞・雑誌等数多くのメディアで絶賛された前作の流れをくみ、今回は東北から中国・四国地方まで新たに取材を敢行。山里に埋もれつつある興味深い体験談を拾い集めた「現在形のフィールドワーク」です。

「新たなる遠野物語の誕生」としてさまざまなメディアで絶賛された前作からさらに拡張する、山で働き、暮らす人々の多様な語りは、自在にしてエキセントリック。「語り遺産」ともいうべき、失われつつある貴重な山人たちの体験に、読む者は震撼しつつ、深い郷愁の念にとらわれるでしょう。単なる昔語りや怪談話の域を超えて、民衆の記憶を渉猟して築かれた新たな物語の誕生、あるいは、現代と近代の境界を漂う不定形のナラトロジーといえる怪作です。

カバー装画は、前作と同様、日本の小口木版画の第一人者である柄澤齊氏のオリジナル作品で、「山怪」の世界観を表現しています。装丁も美しく、陳腐な怪談本とは一線を画しています。

●You Tubeにて『山怪 弐』のプロモーション動画を公開中！

- ・ [山怪 弐](#)
- ・ [刊行に際して「執筆動機編！」](#)
- ・ [「降りてくる山の神」](#)
- ・ [「ミミズ素麺」](#)
- ・ [「チャクラ全開の人」](#)
- ・ [「ヒバゴンの里」](#)
- ・ [「ヤマミサキ」](#)

〈目次〉

はじめに

I 胸騒ぎの山

八甲田山／真夜中の行軍／怖いモノは無視せよ！／落ちた火の玉／仏おろし／同じ夢を見る／夢で呼ぶのは／神様の孫／マタギの里で／狸もたまには騙す／蛇に魅入られた男／秋山郷の謎の火／森の大笑い／青い服の女／山の中で聞こえる音は／御嶽神社／大菩薩女／通じなかった祈り／蛇の鳴き声／駆け巡る笑い声／まとわりつく鈴の音／鷹が見たもの／闇に笑う男／犬を入れた訳／降りてくる山の神／山盛りの内臓／靈感は伝染する？／昨日の友達

II 彷徨える魂

切りたくない木／峠に集う者／続・楽しい夜店／山の日のお出来事／二度と行かない小屋／白日の火の玉／狐の嫁入り／座敷わらし／幻の巨大石塔／止まるチェーンソー／最新科学と交差する謎／天に昇る煙／小さな帽子／線香のにおい／悪いモノ／見知らぬタツマ／虫捕り／立ち上がる光柱／ミミズ素麺／山寺の騒ぎ／オオカミと蛇／十津川村／行者の世界／チャクラ全開の人／回峰行／遭難者が見たモノ

III 森の咆哮

軽トラの待ち伏せ／行ってはいけない／消えた友人／黒い山／一人だけに聞こえる／不気味な声／手相見の警告／おろちループ／呪い神／拝み屋と憑きもの封じ／ヒバゴンの里／爺婆の茶飲み話／神船／良くないモノ／エクソシストと丑の刻参り／森とみそぎ／遍路ころがし／大蛇は寝ている／招くモノ／悪狸／犬神家／ヤマミサキ／婆と侍／雅な調べ

後書きー 怪異との付き合い方目次

〈書籍詳細〉

『山怪 式 山人が語る不思議な話』（さんかい に やまびとがかたるふしぎなはなし）
田中康弘 著

<https://www.yamakei.co.jp/products/2817320080.html>

仕様：四六判（188 mm×130 mm）、並製、256 ページ

発売日：2017年1月19日

印刷版 定価：1200 円+税

ISBN: 9784635320085

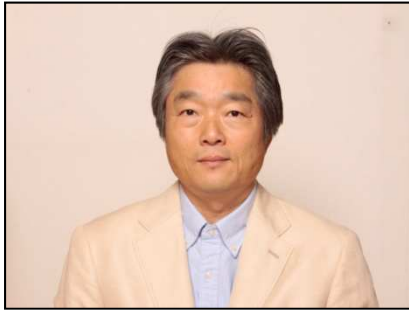
電子書籍版（リフロー形式） 基準価格：960 円+税



前著『山怪 山人が語る不思議な話』（田中康弘・著）も好評発売中！

著者の田中康弘氏が、交流のある秋田・阿仁のマタギたちや、各地の猟師、山で働き暮らす人びとから、実話として聞いた山の奇妙な体験談を多数収録。話者が自分で経験したこととして語る物語は、リアリティがあり、かつとらえどころのない山の裏側の世界を垣間見させてくれる。現代版遠野物語。

<https://www.yamakei.co.jp/products/2815320040.html>



〈著者プロフィール〉

田中康弘（たなか・やすひろ）

1959年、長崎県佐世保市生まれ。礼文島から西表島までの日本全国を放浪取材するフリーランスカメラマン。農林水産業の現場、特にマタギ等の狩猟に関する取材多数。著作に『マタギ 矛盾なき労働と食文化』『女猟師』『マタギとは山の恵みをいただく者なり』『日本人はどんな肉を喰ってきたのか？』（いずれもエイ出版社）、『猟師が教える シカ・イノシシ利用大全』（農山漁村文化協会）、2015年『山怪 山人が語る不思議な話』（山と溪谷社）が8万部超のベストセラーになる。

●本書は、好評を得ている山と溪谷社の「黒い本」シリーズ10冊目で、シリーズ累計23万部を超えています。

【山と溪谷社の黒い本シリーズ】

『定本 黒部の山賊』（伊藤正一・著）／『山怪 山人が語る不思議な話』（田中康弘・著）／『山の不可思議事件簿』（上村信太郎・著）／『新編 黒部の山人』（鬼窪善一郎・語り 白日社編集部・編）／『文豪山怪奇譚』（東 雅夫・編）／『新編 山のミステリー 異界としての山』（工藤隆雄・著）／『マタギ奇談』（工藤隆雄・著）／『逃げろツチノコ』（山本素石・著）／『新編 山小屋主人の炉端話』（工藤隆雄・著）／『山怪 弐 山人が語る不思議な話』（田中康弘・著）

【山と溪谷社】 <http://www.yamakei.co.jp/>

1930年創業。月刊誌『山と溪谷』を中心に、国内外で山岳・自然科学・アウトドア等の分野で出版活動を展開。さらに、自然、環境、エコロジー、ライフスタイルの分野で多くの出版物を展開しています。

【インプレスグループ】 <http://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス(本社:東京都千代田区、代表取締役:唐島夏生、証券コード:東証1部 9479)を
持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「モバイルサービス」を主要テーマに専門性の
高いコンテンツ+サービスを提供するメディア事業を展開しています。

以上

【本リリースについてのお問い合わせ先】

株式会社山と溪谷社 担当・勝峰

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-105 神保町三井ビルディング

TEL03-6744-1911 メール info@yamakei.co.jp